

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和6年1月19日

令和5年12月1日現在。長期休みの児童除く。

回収数 / 配布数 = 回収率
22人(26人) / 24人(28人) = 91.6%
(保護者数で集計。()内は児童数を表示。)

事業所名: 放課後等デイサービスマーガレット2

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	3	0	0	・マーガレット2に入っていないのでわからない	利用人数は定員10名で、利用児童1人当たりの床面積は、設置基準を満たしています。 学習や食事の時など必要時以外はテーブルを片付け、部屋を広く使えるよう工夫しています。休校日には、都市農業センターの畑やグラウンド等課外活動を多く計画し、のびのび遊べる機会を考え、取り組んでいます。契約時に見学せずに契約したため今後は見学を必ず行い契約してもらうように心がけていきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	0	0	0		職員の配置は、1日の利用予定人数に合わせて配置基準以上になるよう配置しています。 看護師や保育士を多く配置し、社会福祉士、介護福祉士などの資格を保有している児童指導員や、それぞれの専門性を活かし協力して、医療的ケア児やその他児童の日々の療育に携わっています。 てんかん発作の可能性のある児童について情報提供カードを作成し、送迎中も含め緊急時に対応できるようにしています。 また、令和4年から作業療法士・理学療法士も勤務し、より専門性を活かしていけるよう努めております。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	22	0	0	0		当事業所は一軒家を借りて活動しており、できる限りのバリアフリーを目指しています。具体的には玄関の足台や手すりの設置等を行い、児童の成長や身体状況等に合わせて対応しています。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 i が作成されているか	21	1	0	1		スタッフ全員で、毎月の課題や目標の設定と定期的に評価を行い、利用児童の状況を把握しています。 年2回のモニタリング時期には、職員全員でアセスメントを行っています。また担当の相談支援専門員や学校の先生と情報共有し、保護者様と直接面談した上で、放課後等デイサービス個別支援計画の作成を行っています。
	⑤ 活動プログラム ii が固定化しないよう工夫されているか	21	1	0	1		活動内容について、毎週土曜日と長期休暇中は、課外活動を中心に体幹を鍛える、身体の使い方を学ぶ等の計画実施しています。毎回活動計画書を作成し、PDCA方式で行っています。 平日の活動は、着替え・宿題後に、創作活動やアナログゲーム(カードゲーム・パズル・塗り絵等)や外遊びを行っています。コミュニケーションや社会のルールを理解する為に、必要となる言葉や数を臨機応変に使いこなす練習ができる機会として取り組んでいます。 リトミック、工作作り、体幹遊び等、専門を生かしたスタッフが活動内容を計画実施しています。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	10	0	1	・分からない。	令和4年12月より子ども食堂を月1回開催し、地域の方や障害のない子どもさんたちと食事やレクリエーションを通して交流の場となれるよう提供しております。 また、福祉館の利用や鹿児島市都市農業センターでの課外活動(野菜づくり)等も行っていきます。さつま芋や季節の野菜を収穫し、収穫できた野菜で芋餅やカレーなどをつくり、みんなで作る楽しみや食べる楽しみなど、共有する時間を増やすことができましたと思います。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1	0	1		利用者負担については利用契約時に説明を行っています。 支援内容については、相談支援専門員や学校、事業所のアセスメントツールの活用等、様々な情報収集・アセスメントを行った上で個別支援計画書を作成し、6ヶ月毎のモニタリングや評価などの際に、保護者様に直接お会いし、説明を行っています。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	0	0	1		本年度、デイロボの導入により、利用時の連絡や情報など保護者様や職員が連携できるよう共有しやすく、活動の写真など子ども達の様子もより覗えるようになりました。また送迎時には直接情報交換させていただいています。 児童の発達の状況や課題について共通理解できるようにLINEや電話、直接来所していただくなど様々な方法で、随時、情報共有し、支援に活かしています。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	1	0	1		評価時の面談は、保護者様と日程調整を行い、必ず顔を合わせての面談を実施しています。時には個別に助言を行い、一緒に取り組み悩むこともありです。一つ一つが勉強の機会となり、支援へ繋げられていると思います。その他、LINEや電話、来所など色々な方法で保護者様からの相談、療育に関する助言等支援させていただいています。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	5	1	1		保護者会については、コロナ感染拡大防止の為、中止しておりましたが、今年度は無事に開催する事ができました。 通常、保護者会を年2回開催し、保護者様同士の顔合わせの場や就職についての話など内容は様々です。(11月は、インフルエンザ拡大の為見送っております。)今後も状況を見ながら、開催していきたいと考えております。ご参加の程、宜しく願いいたします。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和6年1月19日

令和5年12月1日現在。長期休みの児童除く。

回収数 / 配布数 = 回収率
 22人(26人) / 24人(28人) = 91.6%
 (保護者数で集計。()内は児童数を表示。)

事業所名: 放課後等デイサービスマーガレット2

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	1	0	2	分からない。	苦情の研修は、毎年、外部の研修を職員が交代で受講できるようにしており、苦情を受けた際の対応マニュアルに沿って対応できるようにしています。玄関には意見箱の設置、受付担当者と第三者委員を事業所内に掲示しています。受けた苦情については、迅速な対応と報告を心掛け努めていきたいと思えます。ご意見等ありましたら宜しくお願いいたします。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	1	0	1		今年度からデロボを導入し、保護者様と職員がより情報共有できるようになりました。児童や保護者様に合わせて、デロボやLINEの活用、また送迎時に、保護者様との情報伝達交換、確認を行うように努めています。何時でも連絡いただくと対応していきたいと思えます。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	3	0	1		活動や行事などLINEの連絡活用や、長期休暇の行事予定表については月初めに予定表を配布し、自己評価に関する自己評価結果についてはホームページに掲載していることを保護者様に報告しています。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	22	0	0	1		保護者様には、個人情報の使用に係る同意書を利用契約時に説明、同意を得ています。また職員にも雇用時に同意書への記載を義務付けしています。事業所の保管については鍵付きのロッカーで管理し、個人情報の漏洩には気をつけています。また書類管理だけでなく、発言に対しても気をつけていきたいと思えます。
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22	0	0	1		マニュアルには、事故緊急時対応マニュアル、感染症予防マニュアル・非常災害時対応マニュアル等があり、スタッフ間での周知できています。緊急時の対応、嘔吐時の対応を事業所内に掲示し、迅速に対応できる体制作りに努めています。契約時に説明していきたいと思えます。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	0	0	1		夏休みに、事業所で防災訓練・防犯講習を計画実施し、明和分遣消防隊から消火訓練と評価を頂き、災害に備えた訓練ができました。今年度もマーガレット2の児童も一緒に訓練できお互いの協力体制が強化されています。また、職員で実際に避難場所の確認を行いました。防犯については、西警察署の警察官に講話を依頼し、職員・児童に不審者侵入の際の対応について学ぶ機会を計画実施しています。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	21	1	0	1		通所を楽しみにできるよう、子ども達に合わせて今後も計画実施につとめてまいります。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	21	1	0	1		支援の内容等、契約時に希望に応じることができるか判断、検討し、実施していますがまだまだ不十分かと思えます。子ども達や保護者様が、安心安全で利用できるように努力していきたいと思えます。今後ともよろしく願います。追加利用の場合は、定員の関係上希望に沿えない場合もございますので、ご理解とご協力をお願い致します。

- i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者を中心に検討を行い作成している。
- ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じた柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。